

[往信面]

3 7 0 0 8 6 5

群馬県高崎市寺尾町 2120-2

独立行政法人

国立重度知的障害者総合施設

のぞみの園 研究部研究課 行

【平成 25 年度厚生労働科学研究】

障害者虐待の認知状況及び業務実態に関する調査への協力をお願い

深緑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、国立のぞみの園では、厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）を受けて、障害者虐待防止及び養護者・被虐待者の支援の在り方に関する研究を平成 25 年度から 3 年間の予定で実施しています。

このはがき調査では、相談支援事業所、及び就業・生活支援センターにおける、障害者虐待の認知状況、及び障害者虐待防止法にかかる業務実態をお尋ねしたいと思っております。ご多忙とは存じますがご協力いただきますようお願い申し上げます。また、二次調査として虐待事例の調査を予定していますので併せてご検討ください。お手数ですが、返信用はがきは 9 月 27 日迄にご投函くださいますようお願いいたします。

[お問い合わせ]

独立行政法人

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園  
研究部研究課 大村・相馬

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町 2120-2

☎ 027-320-1450 FAX 027-320-1391

E-mail oomura-mi@nozomi.go.jp

〔復信面〕

障害(児)者虐待の認知状況、及び

障害(児)者虐待にかかる業務実態について

\*この調査では、被虐待者(虐待された人)が障害(児)者であるものについてお聞きします。

\*この調査は、通報の義務を果たしたかどうかを問題にするものではありません。相談支援事業所や就業・生活支援センターが被虐待ケースにどの程度関わりや支援実績があるのかを調査するものです。

\*「認知件数」は、通報に至った件数だけでなく、貴事業所が「もしかしたら虐待かもしれない」と感じたものも含めて計上してください。

\*事業所が未開設であった年度については「-」、件数がない場合は「0(ゼロ)」、件数がわからない場合は「不明」とご記入ください。

1. 貴事業所での、障害(児)者虐待の認知状況(実数)

虐待の認知件数	22年度	23年度	24年度	
	件	件	4~9月	10~3月

【24年度下半期(10~3月)の内訳】

年齢	未就学児		6~15歳		19~39歳		40~64歳		65歳以上	
	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合
誰からの相談	本人		家族		関係機関(行政・事業者)		その他			
主な障害の種別	身体		知的		精神		発達		その他	
虐待の種別	身体虐待		ネグレクト		心理的虐待		性的虐待		経済的虐待	
虐待をした者	委託者		施設利用者		雇用事業主(その他自営)		その他			
障害者虐待防止法による通報・届出件数										

★支援機関の種類(いずれかに○) ア.相談支援事業所 イ.就業・生活支援センター  
★貴事業所への虐待防止センターの委託(いずれかに○) ア.委託あり イ.委託なし  
事業所名

ご住所 〒

TEL

ご担当者名

【宛名欄】

情報保護シールの位置

厚生労働科学研究費補助金 障害者虐待の防止及び養護者・被虐待障害者の支援のあり方に関する研究  
 障害（児）者虐待の事例収集に関する調査研究  
 情報提供シート

※別紙の「情報提供シート記入上のお願い」をお読みいただき、ご記入ください。

1. 基礎情報

○虐待が発覚した時期 \_\_\_\_\_ 年（西暦） \_\_\_\_\_ 月

○被虐待者の状況（虐待が発覚した時点の状況をお書きください）

■年齢 \_\_\_\_\_ 歳・歳代 性別 男・女 障害種別 身体 知的 精神 発達 高次脳

■福祉サービス等の利用状況

日中活動	a. 一般就労 b. 就労移行支援事業 c. 就労継続支援事業 d. 自立訓練事業 e. 生活介護事業 f. 地域活動支援センター g. その他（ _____ ） h. 定まった日中活動なし
居住の場	a. 自宅 b. 障害者支援施設 c. グループホーム・ケアホーム等 d. その他（ _____ ）
経済状況	生活保護（なし あり） 障害年金（なし あり）

○同居している家族・親族の状況

○同居者以外の家族・親族の状況

2. 虐待及び虐待が疑われる事案の内容（枠が足りない場合は別紙にご記入ください）

○被虐待者と虐待者の関係、どのような虐待を受けていたかを具体的にお書きください。

3. 虐待及び虐待が疑われる事案の対応の経過 (枠が足りない場合は別紙にご記入ください)

○「虐待発見前の被虐待者と貴事業所との関わり」「どのような経緯で発見に至ったのか」「貴事業所はどのような対応をしたのか」「その後の状況」について、対応した期間、地域の他機関との連携状況も含めお書きください。

4. 虐待防止センターへの通報について (枠が足りない場合は別紙にご記入ください)

○本事例を虐待防止センターへ通報をしたかどうか、また、通報していない場合はその理由をお書きください。  
○虐待防止センターへの通報に関する課題等についても、お書きください。

5. ご記入いただいた方のお名前・ご連絡先

事業所名 \_\_\_\_\_ 事業所番号 \_\_\_\_\_  
お名前 \_\_\_\_\_ ご連絡先 \_\_\_\_\_

6. お問い合わせ先

ご不明な点等ありましたら、下記までお問い合わせください。  
独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部 相馬・大村  
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町 2120-2  
電話：027-320-1445 FAX：027-320-1391 MAIL：soma-da@nozomi.go.jp

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### 雑誌等

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
相馬大祐	「障害（児）者虐待の認知状況及び障害（児）者虐待にかかわる業務実態」の調査結果（中間集計結果）	国立のぞみの園ニ ュースレター	39	21-22	2014
相馬大祐	「障害者虐待防止を考える研究セミナー」を開催しました	国立のぞみの園ニ ュースレター	40	16-17	2014
大村美保	障害者虐待防止と養護者・被虐待障害者の支援の在り方に関する研究（障害者虐待に関する事例調査の結果について）	国立のぞみの園ニ ュースレター	40	20-21	2014

## 研究者一覧

### 主任研究者

志賀 利一 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究部長)

### 分担研究者

井上 雅彦 (鳥取大学大学院医学系研究科 教授)

大塚 晃 (上智大学総合人間科学部 教授)

小川 浩 (大妻女子大学人間関係学部 教授)

佐藤 彰一 (國學院大學法科大学院 教授)

### 研究協力者

大村 美保 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究係)

小林 哲也 (大妻女子大学人間関係学部)

五味 洋一 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究係)

相馬 大祐 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究係)

信原 和典 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究係)

村岡 美幸 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究係)

(姓：50音順／所属：2014年3月末現在)

厚生労働科学研究費補助金  
障害者対策総合研究事業（身体・知的等障害分野）

障害者虐待の防止及び養護者・被虐待障害者の  
支援の在り方に関する研究  
平成 25 年度 総括・分担研究報告書

2014 年 3 月

研究代表者 志賀 利一

編集・発行 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町 2120 番地 2

TEL 027-325-1501 FAX 027-327-7628

URL <http://www.nozomi.go.jp>

印刷所 上武印刷株式会社

